

令和3年10月22日

職員各位

八代市長 中村 博生

令和4年度予算の編成について

本市は、昨年からの新型コロナウイルス感染症や令和2年7月豪雨など、相次ぐ未曾有の事態の発生の中で、職員一丸となって市政運営に取り組んでいるところであるが、この事態に対応するため、昨年から例年になく補正予算等による財政出動を行っている状況であり、今後の持続可能な財政基盤の確立についても留意していかなければなりません。

そのような観点から、今般、その指標となる中期財政計画の見直しを行い、その中では、「未来への新たな挑戦」をテーマとして、最優先課題である坂本町の創造的復興や、アフターコロナを見据えた各分野における新たな取組を計画的に推進していくほか、社会全体の様々な動きに乗り遅れることがないように、将来にわたり持続可能で誰からも選ばれる、「スマートシティやつしろ」を構築していけるよう、位置づけをしております。

一方で、限られた一般財源枠において、それらを実現していくためには、これまでの事業内容等についても、真に必要なものであるか、より適切なやり方がないかをしっかり検討し、前例や組織の垣根にとらわれることなく、柔軟な発想とスピード感を持って、「選択と集中」を常に意識しながら進めていく必要があります。

このような趣旨のもとにおいて、策定している今回の予算編成方針の内容を十分に認識し、令和4年度に向けて、八代の更なる飛躍ができるよう、メリハリのある効率的な予算編成に取り組んでいただきたい。